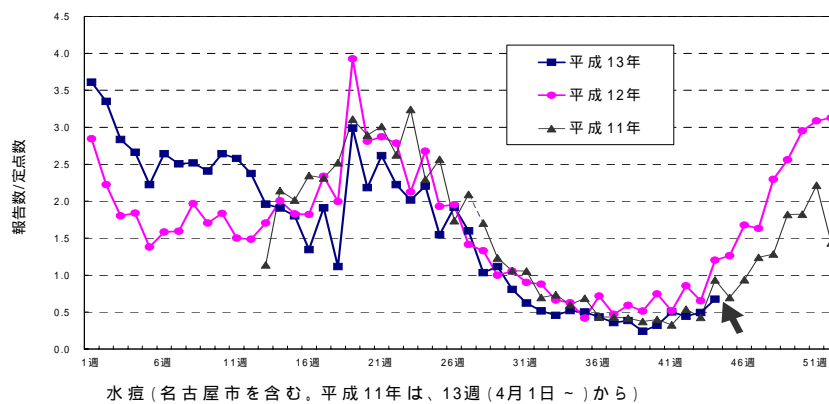
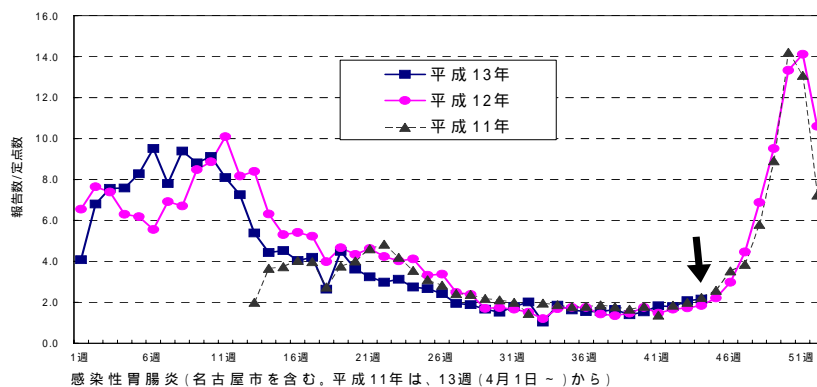


愛知県感染症情報

平成 13 年第 44 週 (10 月第 5 週)

(コメント)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び水痘は増加中ですので、引き続き注意してください。なお、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については愛知県衛生研究所のホームページ (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>) もご覧ください。



(定点の先生方からのコメント)

- 尾張西部地区
 - ・ 溶連菌感染症が目立ちます。
(一宮市 あさのこどもクリニック)
 - ・ 病原性大腸菌感染者 (025 10歳女、018 33歳男 0143 52歳女)
パラインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎は増加しています
(尾西市 城後小児科)
- 尾張東部地区
 - ・ 手足口病の小流行が見られます。水痘とA群溶連菌も目立ちます。
(犬山市 武内医院)

- ・ 手足口病、マイコプラズマ肺炎続発中。
(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)
- ・ 感染性胃腸炎が増加してきました。マイコプラズマ感染症、手足口病もみられます。予防接種済でも著明な耳下腺炎腫張の患児がありました。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ マイコプラズマ感染(肺炎9歳女、6歳女)、アデノウイルス感染(咽頭結膜熱、滲出性扁桃炎)がみられます。病原性大腸菌025 5歳男。
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
- ・ 感冒症状増加しましたが、目立った感染症は認めません。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
- ・ 今週は喘息発作が多くみられました。感染症はあまりみられませんでした。
(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ 手足口病がまだあります。リンゴ病つづいています。感染性胃腸炎増えてきました。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ 嘔吐を主体とする感冒性胃腸炎あり。マイコプラズマ肺炎あり。
(小牧市 小牧市民病院)
- 西三河地区
 - ・ 病原性大腸菌 01 (2歳男、3歳男、5歳女)、06 11か月女
(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)
 - ・ マイコプラズマ肺炎
(豊田市 やふそ小児科)
 - ・ 病原性大腸菌 025 4歳女
(岡崎市 川島小児科水野医院)
 - ・ 病原性大腸菌 018 VT1・2(-) 1歳、06 VT1・2(-) 8ヶ月
(幸田町 とみた小児科)
 - ・ 手足口病、伝染性紅斑が散発
(碧南市 永井小児クリニック)
 - ・ 水痘が流行中
(知立市 宮谷クリニック)
 - ・ 胃腸炎が増えてきた様です。喘息発作が多く見られました。
(西尾市 やすい小児科)

- ・ マイコプラズマ肺炎（10歳女、7歳女）。病原性大腸菌 018 27歳男
VT（-）
（西尾市 山岸クリニック）
- 東三河地区
 - ・ サルモネラ 09 9歳女。带状疱疹 1歳11ヶ月女。（1歳3ヶ月で水痘罹患）
（豊橋市 大谷小児科）
 - ・ 再び手足口病が増加してきています。マイコプラズマ感染が学童を中心にみられています。
（豊橋市 あずまだこどもクリニック）

（1～3類感染症の発生状況）

腸管出血性大腸菌保有者 1名

- ・ 西尾保健所から報告の7歳男。10/29初診、11/1診定。菌型は0157 VT（+）。

（全数把握の4類感染症の発生状況）

急性ウイルス性肝炎B型患者 1名。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症患者 1名

第42週（10月15日～10月21日）の4類感染症の全国状況

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べやや多くなっており、今後年末のピークに向け患者数の増加が予想される。定点当たり報告数が多くなっているのは、鳥取県、福井県（定点当たり報告数5.5）、三重県（4.9）、石川県、宮崎県、大分県（4.1）などである。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は、第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県（6.7）、富山県（4.4）、沖縄県（4.3）などである。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）